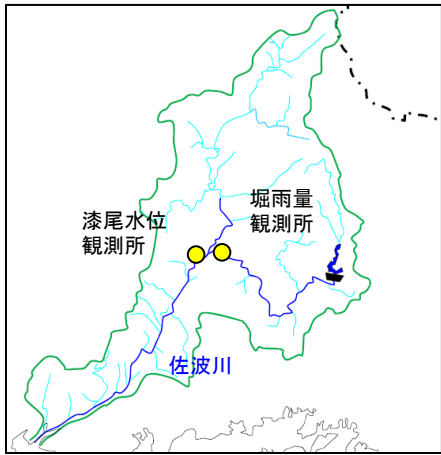


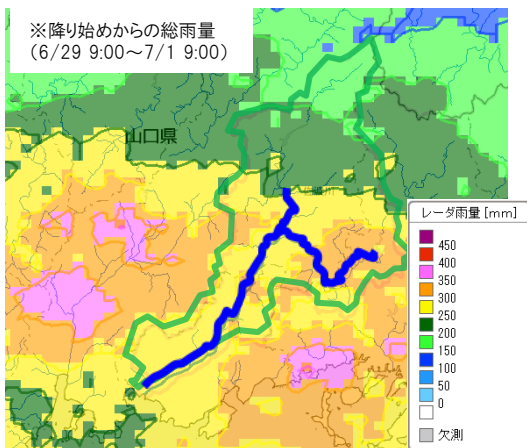
令和5年度佐波川出水振り返り

① 気象概要及び佐波川の状況 令和5年6月30日～7月1日出水(梅雨前線)の状況

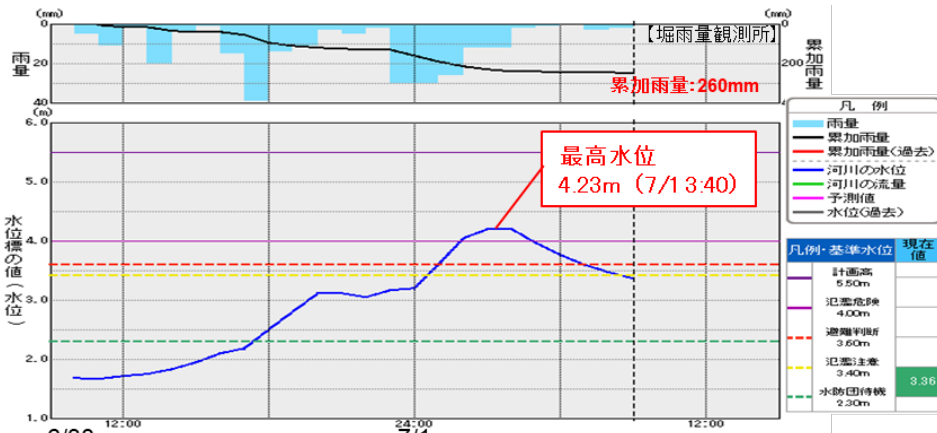
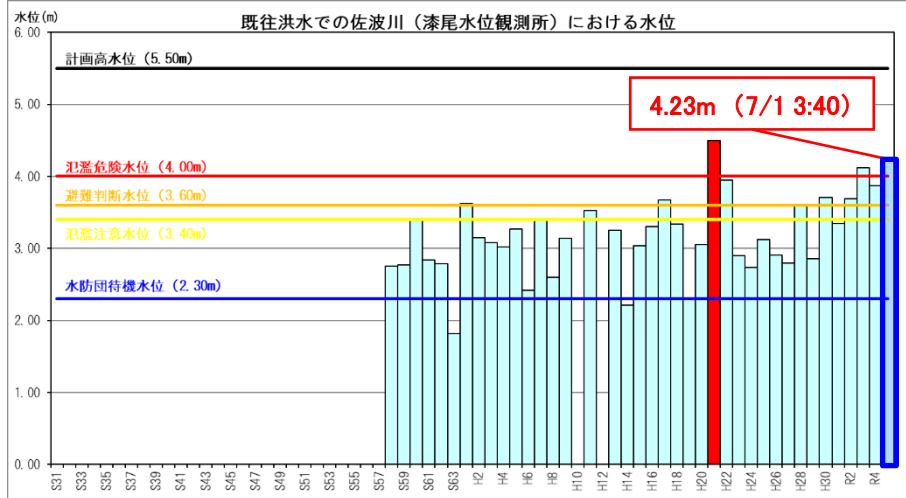
- 令和5年6月30日から7月1日にかけて、梅雨前線に向かい南から暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部から山口県では、前線の活動が活発化しました。1日未明には山口県において「線状降水帯」が発生しました。
- 佐波川流域では、令和5年6月30日未明から2日未明にかけて大雨となり、堀雨量観測所では2日雨量が260mmと、平成21年7月豪雨の雨量を超過する記録的な雨量を観測しました。
- 佐波川水系佐波川漆尾地点において、氾濫危険水位(4.00m)を超過し、最高水位4.23mを記録しました。



▲観測所位置図



▲累加雨量図(雷ダ雨量)【国土交通省作成】



▲佐波川における雨量・水位観測状況

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



平常時

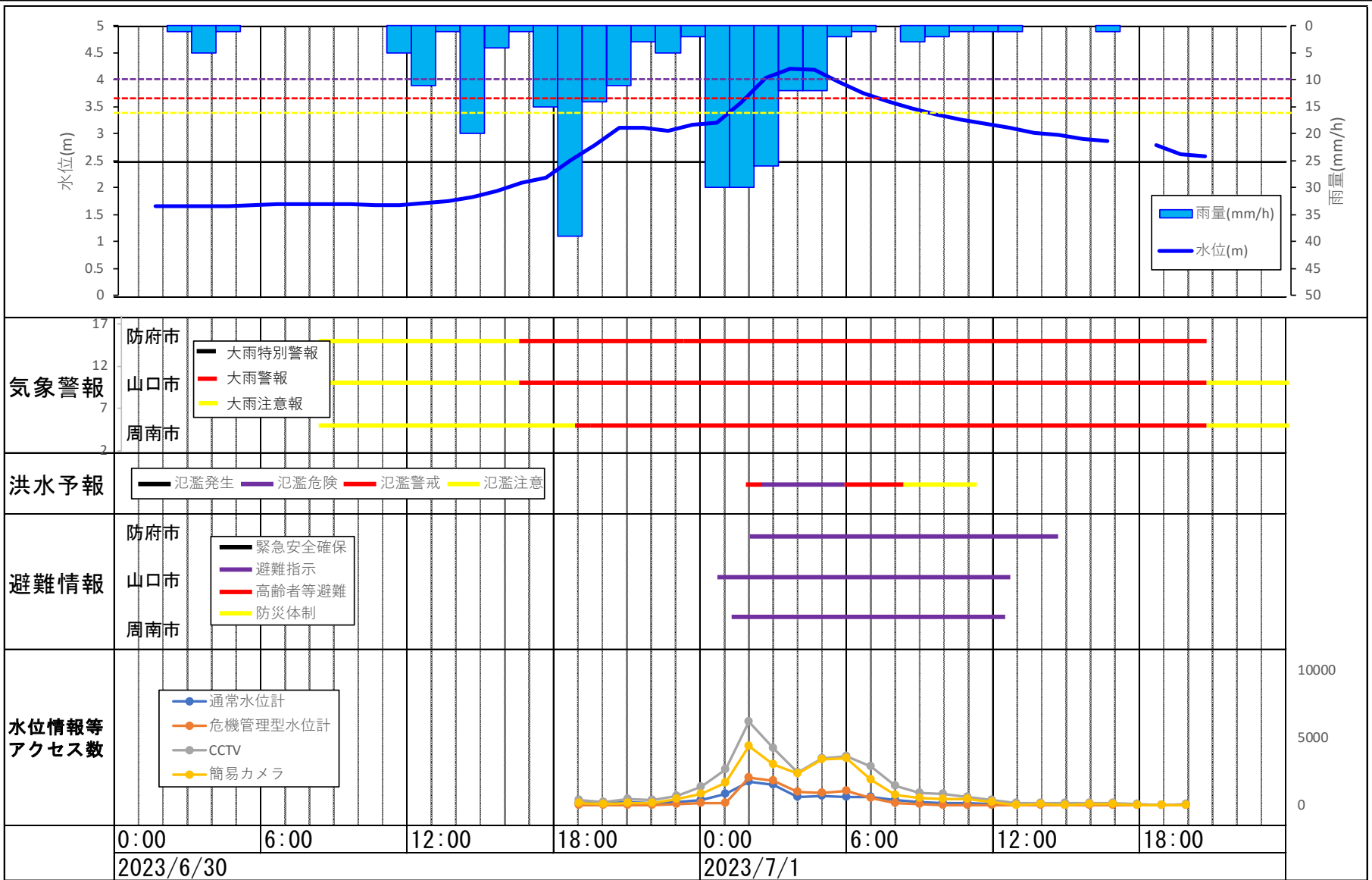


7月1日 6時頃

▲CCTV画像(漆尾水位観測所付近)

②情報発信の状況 令和5年6月30日～7月1日出水(梅雨前線)の状況

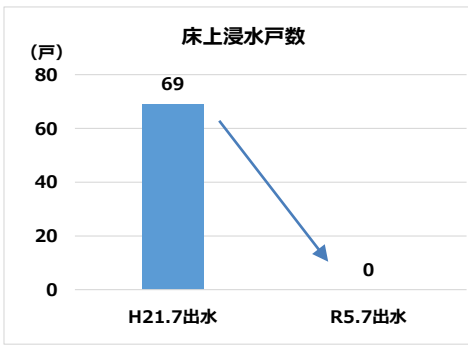
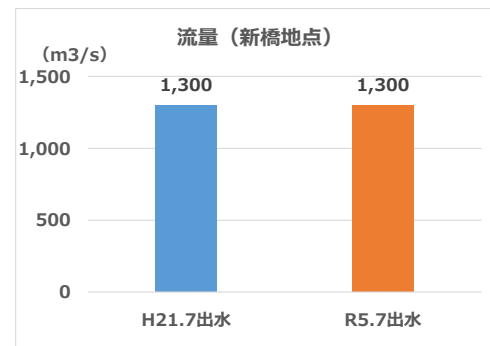
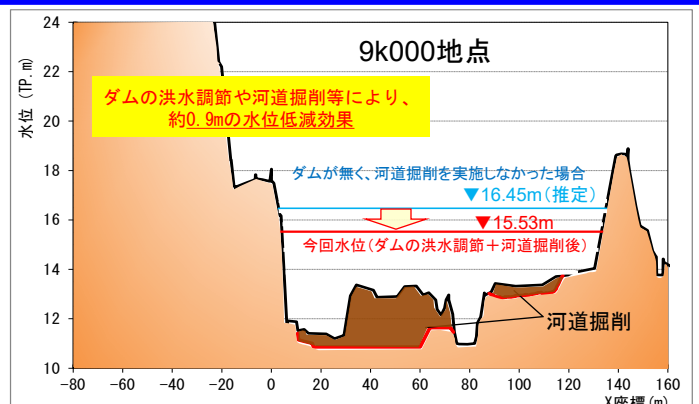
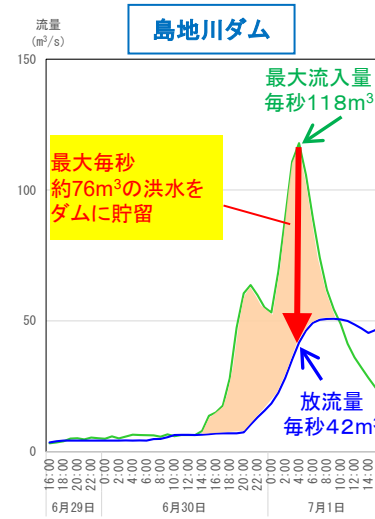
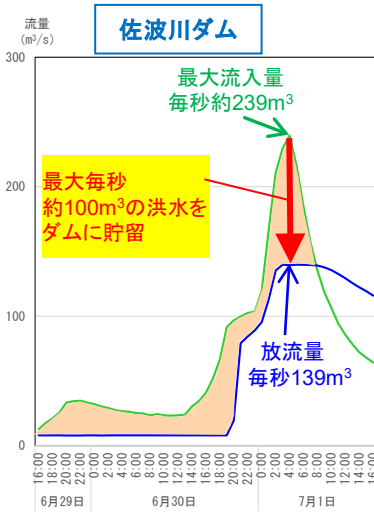
- 大雨警報及び佐波川氾濫危険情報が発表され、防府市、山口市、周南市では避難指示が発令されました。
- 洪水予報が発表された7月1日未明において、水位計や河川カメラ等の防災情報へのアクセス数も急増しました。



※避難情報は土砂災害によるものを含む

③ダムの洪水調節や河川改修による治水効果 令和5年6月30日～7月1日出水(梅雨前線)の状況

- 佐波川流域では、「防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」で河道掘削を実施してきたこと、島地川ダム(国)及び佐波川ダム(山口県)による洪水調節を実施したことにより、9k000(防府市上右田地先)付近において約0.9mの水位低減効果を発揮しました。また、「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」も活用し、2k800(防府市佐野地先)付近において、支川甲久保川との合流点付近の堤防及び樋門の整備を実施したことから、浸水被害を防止しました。
- 今回の出水では、平成21年7月出水と同規模の流量(速報値)でありましたが、これまでの治水事業および砂防事業により浸水被害を大幅に軽減しました。



④佐波川の被害状況等 令和5年6月30日～7月1日出水(梅雨前線)の状況

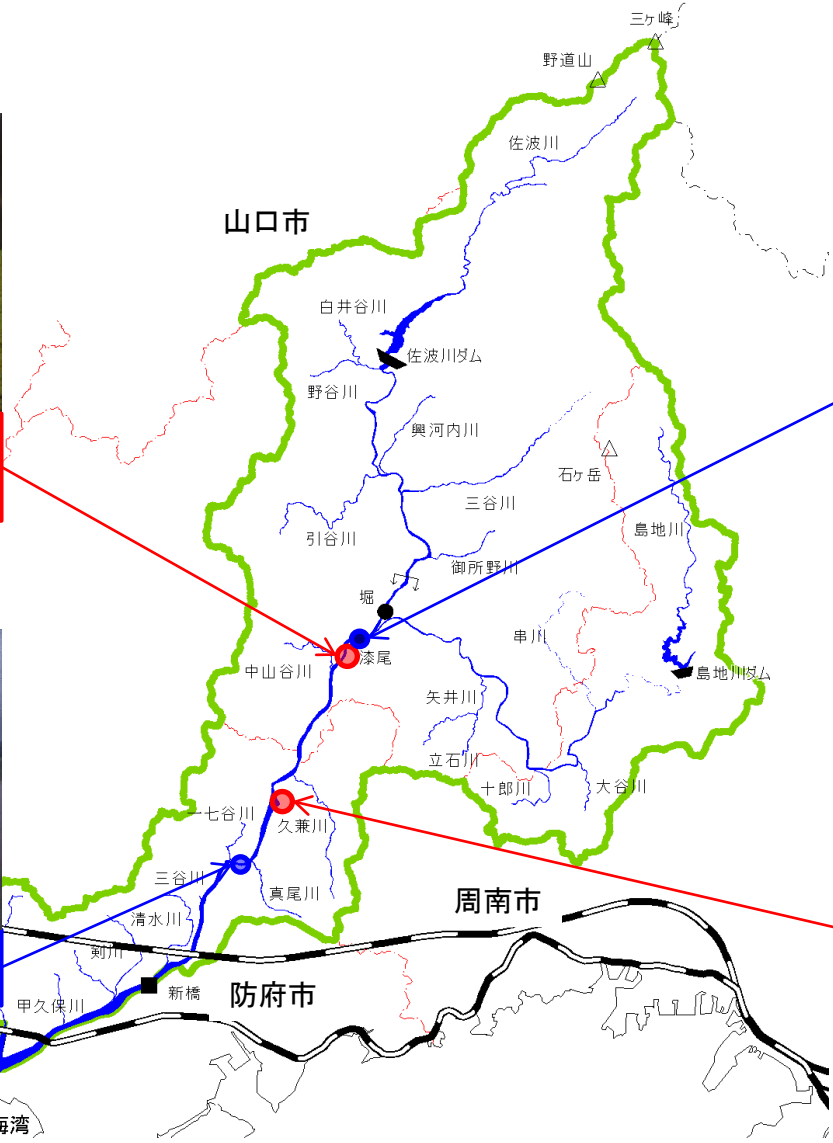
■ 佐波川流域では、霞堤2箇所において浸水被害が確認されました。



佐波川左岸22k400付近（山口市徳地伊賀地）
霞堤箇所の農地浸水 約0.4ha
⇒解消



佐波川左岸12k690睦美橋付近
(7月1日3時頃)



佐波川左岸24k800漆尾水位観測所
ピーク水位付近（7月1日4時頃）



佐波川左岸15k600付近（防府市和字）
霞堤箇所の農地浸水 約0.5ha
⇒解消

※ 数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

令和5年度佐波川出水振り返り

令和5年6月30日からの大雨による出水を踏まえ、各機関の現在の取組状況（取組による効果・課題）のとりまとめを実施しました。

【効果】

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組	■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策（ハード整備）	・ 今回の出水は平成21年7月出水と同規模の流量（速報値）だったが、河道掘削や支川合流部の整備等により外水氾濫の防止、被害軽減をすることができた。
	■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備（ハード整備）	・ 早期注意情報等の気象情報発信により早い段階からの警戒呼び掛けを行った。 ・ 氾濫危険水位超過時に緊急速報メールを送信した。 ・ 避難所整備により、自主避難者の受け入れを行った。
	■ 情報伝達、避難等に関する取組	・ ハザードマップ等の活用による災害の備えを実施している住民が増加した。 ・ タイムラインを活用してタイムラインレベルの周知～避難情報発令を実施できた。 ・ 防災カメラ等を活用した災害対応を実施した。 ・ 防災カメラ情報（Pull型情報）へ一般住民が多数アクセスした。
	■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発	・ 出前講座等を通じて住民の防災意識が向上したことにより避難者数が増加した。 ・ 川の防災情報により常時簡易型監視カメラの画像を提供した。
② 地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動	■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化	・ 水防資機材情報の共有が図れており、水防資機材の情報共有により十分な水防体制を取ることができた。 ・ 河川の水位上昇に合わせて洪水予報を実施した。

【課題】

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組	■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備 (ハード整備)	・ 線状降水帯の予測の精度向上や対象地域の絞り込み
	■ 情報伝達、避難等に関する取組	・ 内水ハザードマップの作成ができていない。 ・ 簡易型河川カメラや防災監視カメラの画像から状況把握、共有し、人員対応を行うまでの迅速化が必要である。
	■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発	・ 高リスク区間であっても、地域や環境によって住民の危機意識に差がみられる。
② 地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動	■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化	・ 水位予測に合わせて、迅速な洪水予報作業が可能となるよう技術力の向上・維持に努める。 ・ 水位予測に柔軟に対応出来るよう継続的に訓練を実施し洪水予報への習熟を深める。 ・ 防災情報の伝達に時間を要し、災害対応の行動の迅速化が必要。 ・ 水防資機材の相互支援情報については、支援の種類、支援先、支援方法など不明。

令和5年度佐波川出水振り返り

- 令和5年6月30日からの大雨による出水では、取組の効果により被害が軽減できた一方で、課題も確認されました。
- 以下の対応方針のもと、課題解決にむけいっそう励む必要があります。

【対応方針】

①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組	■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策（ハード整備）	● さらなる治水安全度向上につながる整備
	■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備（ハード整備）	● カメラ画像から災害情報を確実に取得するための整備
	■ 情報伝達、避難等に関する取組	● 内水ハザードマップを作成 （令和6年度は内水浸水想定区域図を作成（防府市））
	■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発	● マイタイムライン作成、出前講座等による住民・事業者への防災意識向上のための取組強化
②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動	■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化	● 洪水予報に関する技術力の向上・維持 ● カメラ画像情報を活用した人的配置の迅速化 ● 防災情報提供に向けたの伝達系統の見直し ● 水防資機材の相互支援方法の確立